10月31日 月曜日 30日発行
昭和30年 西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
第3264号

天気予報 今晩 北の風晴れときどき曇 明日 [illegible]

4版

蒋総統あす69回の誕生日

反攻復国の大道を団結固め邁進せよ
蒋総統 在外僑胞に激電

蒋総統は[illegible]海外同胞が更に団結を強化し、反攻復国の大道を邁進せよ」と激励した。

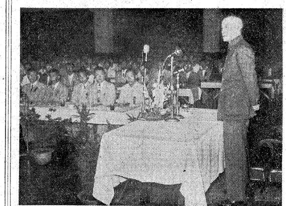
[illegible]の双十節の国慶記念日においても諸君等は連綿と続いた中華民国の歴史を擁護し、身命をなげうって国旗の護持に当り、逆賊撃滅の誓いを新らたにしたことは一層の喜びであった。

現在、反攻大陸の基地の復興は着々として成長をしており、一方大陸の共産地区内の抗暴運動は到るところで日増しに激化している。また海外華僑も数年来中共政府の圧力で打撃を受けて来たが消極的な態度を一掃して攻勢的態度に立ち戻るべきだと思う。諸君らが率先して政治反攻の任務に一層努力されることを念願する次第である。われわれの反攻復国の痛切な念願も、この基本条件が整えられぬ限り急速な実現は困難であると思うからである。

最近、ソ連を中心に中共その他共産諸国は平和攻勢の仮面をかぶって、世界の民主国家間の分裂を企図しているが、もともと自由と奴隷国家との共存は不可能であり、この鉄則の下では彼らの陰謀は徒労に終るであろう。それはかりか却って世界の民主国家は敵の陰険な計画を察知して憤激する可能性が強く、われわれの反攻復国の機会も近き将来必ず訪れると信じて疑わない。

わが中華民族の自由と独立のために戦う決意と、最後には必ず勝つという信念は一時的な国際情勢の変化によって影響されるものではない。

海外華僑の同胞はこの目的遂行のため、意思と決心を不動にして、依頼心を排除し、僥倖を期待せず、全軍民が一致団結、情熱を新らたにして反攻復国の大道を邁進されることを切に望むものである。記念日に当り、特に電文をもって慶祝する次第である。





蒋総統と華僑 写真㊤は去る九月台北で開かれた華僑文教会議で訓詞する蒋総統 ㊦は[illegible]求めに応じて親しくサインをする蒋総統（海外通訊社提供）

蔡本社社長 蒋総統に祝電

留日東京台湾同郷会々長、内外タイムス社々長蔡長庚氏は三十一日第六十九回の誕生日を迎えられる蒋総統に対し、二十九日台湾同郷会と内外タイムス社を代表して次のような祝電を送った。

恭逢総統六九華誕東京台僑群情歓躍謹祝萬寿無量領導復国
留日東京台湾同郷会長、内外時報社長蔡長庚



蔡本社々長

飛躍的増産を達成
台湾の農林・漁業・畜産

台湾の主要食糧は米、小麦、甘藷、落花生及び大豆の五種である。主な特産物としては甘蔗、茶、バナナ、パイナップル、柑橘、煙草、黄麻及びシトロネラ油の八種がある。別に林業方面の木材、漁業方面の魚介水産物、牧畜方面の豚、牛等がある。以上列挙した十七種の主要農産品中、米と甘蔗が台湾省経済の二大支柱である。

米の生産量は日本領時代に最高百四十万トンを記録したが、光復当時は六十十三万トンに減少した。爾来政府は特に米産に留意し、民国三十九年には百四十二万トンに増大、日本領時代の最高生産量を突破した。四十三年における生産量は百六十九万五千余トンに達し、台湾軍民への食糧供給に心配がなくなったばかりでなく、輸出余力さえ生じて来た。その他の雑穀中、例えば小麦、甘藷、落花生及び大豆の生産量も年々増加して、いずれも日本領時代の最高生産量を既にりょうがしている。

こうした増産は耕地の増加が重要な原因ではなく、水利建設、肥料の増産、病虫害の駆除防止、品種の改良、輪作方法の研究等により単位面積当り収量増加を促進したことが根本原因である。

次に台湾の特産物は、黄麻と葉タバコは自給自足程度だが、他は全部輸出され外貨獲得の主要物資となっている。このため国際市場の需要と睨み合せて生産方針が立てられ生産と輸出の平衡が按配されている。

例えば砂糖（白糖、赤糖を含む）では日本統治時代における最高生産量は百四十一万八千七百三十一トンであった。戦後の最低生産量は三万千三百十トン、一九五三年は九十万五千五百七十三トン、本年の生産量は七十五万千四百八十一トン、明年の生産予定量は七十万七千八百七十トンと本年よりも少くなっている。この理由は世界の砂糖生産量が過剰であるため、本年ロンドンで行われたISA（国際糖業会議）において、各国の生産量の枠に一律に制限が加えられ、一定量以上の生産ができないためである。台湾糖の年間輸出量は六十万トンであるが本年は、ISAの決定で、五十一万トンに引下げられた。今後も国際状況が好転しない限り台湾の砂糖生産量は七十万トン前後に抑えられてそれ以上の生産は見込みがない。砂糖などは生産と輸出のバランスの仕組を説明するのにいい例である。

台湾特産物はかつての日本統治時代には相当な生産をあげたが、終戦直後は戦争の影響のために大幅に減少した。国民政府が台湾を接収してからは計画的に生産増加を行って来たので、現在では品質及び単位面積の生産量は増加し、戦前の水準に早くも達している。一部物資については日本統治時代よりも質量共に向上しているものがある。

現在生産の重要目標は科学的方法によって、単位面積の農業生産を引上げること、品質の改善コストの引下げ、価格の合理化、農民への利益の保障、民営企業の育成及び海外市場の開拓である。国民政府はかかる目標達成のために各種の重要な措置をとった。例挙すると優良品種の普及、増産競争、生産資金の融資、肥料自給の奨励及び化学肥料の適正な配分等で積極的な措置をとった。この他講習会などによって耕作管理、技術の研習、水利、土壌の技術者訓練及び包装、加工技術の指導などがあるが、すべてが生産者本位に計画が行われ、単なる机上プランではなく、どしどし実行されている。

林業についていえば、台湾は森林の資源に極めて恵まれている。木材の一般的な利用の他、森林は風水害の防止、電源の保存、土砂の保護、国土の保全の重要な役割をもち、台湾経済の建設の上に、無限の貢献を行っている。建設の基礎は先ず森林資源の確保からといえる。戦後、政府は林業に対して積極的に整理を進めた。即ち林業管理の強化、造林面積の拡大、幼林の育成強化、森林資源の調査、保林設備の増設、入札による木材販売制度、及び木材利用の拡張等の施策を促進して来たので、現在台湾林業は軌道に乗り始めた。

漁業面では、政府の数年来の奨励策がきいて、一九五四年の総漁獲量は十五万二千余トンと増加している。現在台湾漁業は相当の成果をあげているものの、年間総需要二十七万余トンの鮮魚を自給するまでには時日を要するであろう。ただ台湾は四面海で囲まれており、利用できる海面が極めて広大なので、今後とも奨励と援助が強力に進められれば、省内需要の自給目標に到達するのはさほど遠いことではないであろう。

牧畜面では、終戦直後は全島の豚はわずか五十七万余頭、牛二十九万余頭であったが、数年来の品種改良、疫病等の予防措置で、現在では豚は二百八十七万千余頭まで増産しており、牛は四十万六千余頭に達している。

"不断の実践"のみ
総統の誕生日に当り海外僑胞に寄す
鄭僑務委員会委員長

[illegible]

闘争は自由中国の強力で果敢な奮闘に負うところが少くない。従って[illegible]英明なる指導により先ずその偉大な訓示を実践し、充実した成果を[illegible]心こもる慶祝の意はその堅固不抜の信念をあますところなく現して[illegible]ある。

ここ数年来、われわれは英明叡知[illegible]決さるべき問題が残されているといつならば、それは即ちわれわれ[illegible]個人々々が偸安的な僥倖を待ち望んだりあるいは他力本願でいるなど日和見的態度でいるからである。またもしわれわれの復国にはなお障害があるというならば、それは即ちわれわれ自身が反共反ソ、自立自尊、奮闘と堅固不抜の信念に欠けるところがあるからだ』と説かれた。反攻の機会を確実に把握し、速かに復国を達成して雪辱を遂げ、大陸同胞を解放する任務を完成するには、われわれはいままで以上に国父孫先生の『知難行易』の革命哲学を体得し力行実践の精神を発揚し、実践力行の深さと幅とを拡大すると共に更に大にして更に豊かなる力行の成果をば偉大なる民族指導者に献げ、将来の反攻戦争によってこうむる犠牲と損害とを縮小することにより復国の大業の完成を早めることが肝要である。

従ってわれわれは実践にあたってこれを散発的に終ることなく、不断に継続すべきである。ただ実践によってのみ積極的、進取的精神を醸成し、行動の能率を高め、反攻の機会を作り上げ、革命の任務を完成せしめることが可能なのである。一切を戦闘のために、一切を反攻のために投げうっての力行実践が心要とされる。だからわれわれは『実践、再実践、不断的実践』の一句をもって総統への慶祝の辞とする次第である。

駐日大使館で時事座談会

中国駐日大使館では二十七日午後四時から東京港区桜田町の大使官邸で第四十二回時事座談会を開き、国際問題研究委員会主任委員卜道明氏のソ連問題に関する報告が行われた。

東西対立続く
外相会議第三日

【ジュネーヴ二十九日発UP＝共同】四国外相会議第三日目は二十九日午後三時（日本時間午後十一時）から開かれ延々四時間にわたって欧州安全保障問題とドイツ統一問題にかんし西欧側、ソ連側の相対立する提案について討議が行われたが結局双方に何らの歩みよりもみられぬままに午後七時（日本時間三十日午前三時）閉会した。二十九日の会議では欧州安保、ドイツ統一問題にかんしてこれ以上討議を行っても早急に何らの進展をみる見込みがないとの見通しのもとに四国外相は次回の会議（三十日午後三時＝日本時間午後十一時＝開会）ではひとまずこれらの問題をはなれて、第三議題である東西間の交流促進問題を検討することに決定した。

国府空軍、中共の砲艦を攻撃

【台北二十九日発AP＝共同】国府空軍当局の発表によれば、国府空軍所属F84サンダー・ジェット機隊は二十九日馬祖島北方四十キロの水域で中共軍の大型砲艦二隻を攻撃、ナパーム弾とロケット弾でこれに損害を与えた。なお国府空軍機は無事帰還した。

内外抄

『総裁は話合いで』と河野農相がついに切り出す。これでは自由党との話合いがつかなくなる。

◇

南千島は国際会議に回わそうと。どうせソ連のきかぬ話、お茶をにごそうとせず本筋で行け。

◇

北鮮と議員団とでも共同コミュニケ。中味はどうでも、お互いの宣伝にさえなればええとね。

◇

『従属民族自由の日』に社会党の宣言。同病相憐むの弁、このあたり社会党のお家芸。

◇

国体秋の大会、きょう華々しく開く。全国から集まった一万五千の若人の気は躍る。

米の予約売渡
第二次は全く低調
農林省、対策に苦慮

十一日から始まった本年産米の第二次予約売渡申込みは二十九日現在で約十五万石と非常に低調で、農林省は対策に苦心している。二次予約の成績が悪い原因としては、

一、十月の後半が全国的に天気が悪かったうえ農家は一次の予約米の出荷に追われたこと。
一、予約量に応じて税金が多くかかるといううわさが相当広く伝えられて出足をにぶらせたこと。
一、集荷に当る全販連が積極的に動かなかったこと。

などがあげられているが、一般には農家がヤミ値の動きとにらみ合せて予約をしぶったことがおもな理由とみられている。農林省は十一月にはいれば早場米の出荷が一段落するので天気の回復とともに予約が激増するものと見ている。とくに希望配給米が出回り始めればヤミ値もグンと下って日和見の農家も予約に走るだろうと期待している。



粋人酔筆
ヌード長髪族
峰岸義一

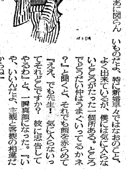
今や美術シーズン酣で、上野の杜ばかりか街の画廊からも、意匠をこらした招待状が毎日のように私のところに届く。だが残念なことに、雑用多端な私は、その十分の一すらも見ていない。いつも申訳ないと思いつつ過しているうちに、ショックを受けたことが一つある。

それは、絵の良否は別として、かねて知っているモデル嬢から『私を描いたのが、どこどこに出ているから見て欲しい』という葉書を受取ったことである。これは何か新鮮な鑑賞眼をそそった。

誰はどういう風にあの女を描いているか？ 某はどんな風に彼女の特徴を表出しているか？ といった興味である。モデルは実体で、しかも私はこの眼でしかとその子の特徴を知っているからである。

そこでつくれない暇をつくってノコノコ出かけて行った。だが一番面白くないのは、今流行の抽象絵画で、彼女をモデリングしたといっても、その特徴を生かした訳でなく、さんざん切りきざんで、片影だけにしか女の匂いがしない。形はそれ自体に忠実な絵の由だが、これなら高い金を出してモデルを雇う必要もなさそうに思うが、そうもいかないところに芸術の芸術？ たる所以があるのだろう。

それはそれとしてそれらのモデルの本当の特徴を抽出した絵はすこぶる少く、大抵がっからさせられるものだが、この間Uというモデルが、恋人である或る画家と結婚した。その画家が苦心のヌードを出して某展覧会に初入選したというから、さぞかし彼は、恋人である彼女の特徴を精魂こめて描いたことだろうと、期待して出かけたところ、あに図らんや、私が知っている大事な部分に力が入っていない。ここらが芸術とや申す、高尚というかプライドというか知れないが——このために私はすっかりがっかりしてしまった。



モデルといっても、今は廃業して彼氏のマダムであるが、案の定、会場をウロチョロしており、私を見つけるや『先生、彼の絵どうでしょう』と、おめでとうに次ぐ褒め言葉を予期するかの如く、ニコニコ顔で私の答をきこうとするのである。

エチケットであるから『初入選ってうれしいものだよ、特に新婚早々ではなおのこと、よく出来ているが、僕には気に入らないところがたった一個所ある。ところでどうだい仲はうまくいってるかネ？』と聞くと、それでも顔を赤らめて『ええ、でも先生！ 気に入らないってそれどこですか？ 彼に忠告してやるわ』と、一瞬真顔になった。『いや、いいんだよ、主観と客観の相違だからね』

こうお茶を濁して、会場から出た私は、彼女の世にも稀なる或る部分の長髪族を想起してみた。人の悪いことだが、どうもその部分が気になっていけない。彼氏はまるで省略してしまい、反対のパイパン族にしてしまっているからである。これではアイヌに見紛う漆黒さ、房々と文なしたあの特質がまるで抹殺されているも同様で、てんで話にならない。

いくら彼女にしつっこく聞かれても、素晴しかったあの部分が描けていないとは、いくら心臓の私でもいえなかった。

そこで失礼ながらこの画家は大した者じゃないぞと結論づけるハメになったのだが、ここでやっとロートレック一人さえ出ない日本の絵画界が判ったような気がした。私はあのモデル女と何んとやらする場合はどうしたらいいだろうなどと千々に妄想を逞ましくしていたことがあっただけに、その落胆たるや言語に絶する。お下劣というなかれ、その真実を恋してこそ名作は生まれるのだという法則を、もっとじっくり反省する要がある。

慶祝 蒋総統六十九華誕

留日台湾同郷会
会長 蔡長庚
外理監事
会員一同

青春無宿 (173)
大林清
下高原健二画

黒い死（八）

『お前たちは金を持っているはずだ、金をかえせ！』

大反野がふたたび飛びかかろうとしながらわめいた。

『何の金です』

ソロジェムは油断なく眼を次郎にすえたまま、大反野へ反問した。

『日月教本部からヴァルマンが持って行った金だ』

『あれは寄付としてもらったもので、あんたにはそのうちいくらかが渡っているはずでしたね。第一、わたしたちはもうヴァルマン氏とは手を切ったのです。そのことで御用があるのだったら、直接ヴァルマン氏に云ったらいいでしょう』

ソロジェムはうそぶいた。

『そのヴァルマンは死んでおる、殺したのは君達だろう！』

大反野は節くれだった指を慄わせながら、ソロジェムの胸もとへ突きつけた。

『ははは、何を云ってるんです。わたしたちはいそぐんだから。どいて下さい』

『ボストン・バッグを渡せ！ 金はその中にはいっている！』

『冗談いっちゃ困りますな、この中は着替えの下着と煙草ばかりですよ、嘘だと思ったら調べてごらんなさい』

ソロジェムは無雑作にバッグを、大反野の足もとへ投げ出した。

大反野が飛びつくようにして、そのバッグの口をあけにかかった時だった。ソロジェムの後にいた二人の安南人は、いきなり身をひるがえして仮橋の方へ走りだした。

『宇田さん！ あいつらを……』

そうさけびながら、身を起そうとした大反野は、ソロジェムに肩口を蹴られて転倒した。同時にソロジェムも二人の仲間のあとを追って走りだした。

次郎は地を蹴ったが、衿髪をつかもうとのばした手は、一瞬の差でソロジェムの背中を滑った。

先の二人はもう仮橋にかかっていた。それにつづいて脱兎のように橋桁へ足を踏み入れたソロジェムは、ふいに次郎にむきなおった。

『撃つぞ！』

その腰にかまえられたのは、黒く光る拳銃だった。

次郎はひるんだ。あたりには身をかくす何ものもない。しかも、仮橋は人ひとり辛うじて渡れる幅なのだ。



『危いっ、やめて！』

追って来た兆子が、背後から次郎へすがりついた。

『前へ出るな！ 出れば撃つぞ！』

ソロジェムはそのままのかまえで、ジリジリと後ずさりはじめた。

次郎は立往生をしたままだった。一歩でも踏み出せば、伊豆山海岸の経験から推して、ソロジェムの拳銃は必らず火を吐くにちがいない。

朝靄は次第に晴れはじめて、足もとに揺れる海水に、薄い陽射しが映えている。海鳥の飛び交うのが、まじろぎもせずソロジェムに眼をすえている次郎の視界をかすめた。

ソロジェムは仮橋を三分の一ほど後ずさったところから、ふたたび対岸へむかって走りだした。

ルポ・ヨコスカ 半分記

荒れくるうデフレ風

一番こたえた"桃色稼業"



…に見舞われてしまった。…基地景気の余波も消え、その…"ルポ・ヨコスカ半分記"である。

バンドマン

…客足も半分以下になり気抜けした…

…店員八人に一日の売上げ三十万円…

姫君たちの景気

…ていたクツ磨き屋も、このところしょっぱい顔で彼女たちを見送っている。これにつれて一日百件からあった売春現行で挙げられる数も日に十件へと減っている。また三人に一人の割合いで姫君に寄生していたポン引きたちも百人を割ってしまった。

四苦八苦商店街

奉加帳握りつぶし

"黒船祭り"にしぶい顔

…下ってしまった。店主のS氏は『もう横須賀はいけません、これからは還出して稼がにゃ…』

二十八年、下田の"黒船祭り"には伊東絹子さんら八頭身モデル五名を招いて撮影会をやるなどその費用ざっと五十万円といわれた。それでも『店の宣伝費と思えば軽いもんですよ』と鷹揚に構えていたが、今年の"黒船祭り"では下田から送られてきた奉加帳も握りつぶして『それどころではありません』と渋い顔。

○…不景気になればなるほど街のネオンがきらめき、あの手この手と客寄せ戦術を編みだし、景気再来を計るのが人間の特徴。これもまた"半分以下"の煽りをくった伝費と思えば…スーベニヤ（土産物店）の苦肉の策だった。

つい最近、横須賀署では店頭で横文字Y本を米兵に売りつけていた本町三の一露店スーベニア商・星野七郎（三）をワイセツ物陳列罪で検挙した。このとき押収した本が『覗かれた寝室』『処女への祈り』『不思議な訪問者』『黄金のデッキ』のたった四冊、いずれもガリ版刷のお粗末なもの。星野はこれを百円で仕入れて二百円で米兵相手に売りつけていた。内田渉外係長の話では『横文字Y本は今年に入ってグンと増えたようだが、一店でせいぜい十冊から二十冊しか置いていない』という。

これは売って儲けるためではなく、これをエサにほかの商品を売りつけようという客寄せの一手だという。パクられた星野も保安官の前で『どうもほかの店だけにあって家にないと、お客をとられてしまうものですから…』と頭を搔きかき詫びを入れていた。

新宿キャバレー くめとさらん

一人一万円がやっと

"飲めや遊べ"は昔のユメ

兵隊のフトコロ

○…ところで基地横須賀の景気を左右する兵隊のフトコロ具合はどうだろうとみればここもやっぱり半分以下のようだ。動乱中だと二日上陸すると一人五万円からの遊興費をフトコロに入れていた。それに当時は戦時休暇のことでもあり、のめや、歌えや、遊べやの乱痴気騒ぎを演じても司令部の方でも大目にみていた。だがいまは違う。兵隊の給料は月に二万五千円から四万円がやっと。このうち約半分は女房孝行、あるいは親孝行しなさいということで本国に強制送金させられる。最近では外出する兵隊も一日千人がやっと、それに一人一万円もっていれば上々の方で、しめて一月間に彼らが横須賀に落す金は一億円がせいぜい。こんな話がある…。

十月に入って間もなく米軍キャンプの司令官に横須賀市内のキャバレー経営者から抗議書が届けられた。開いてみると部下の伍長が同キャバレーでツケで飲んだ金の請求だった。これだけならなんのことはないが、請求した額がなんと二千六百円だった。再三口でいっても払わないからといって抗議書を送るものも送るものなら、二千六百円の金に逃げまわる兵隊も兵隊というわけ。とにかく彼らも半分以下なのである。

○…これと似た話が米兵とタクシー運転手の間にもあった。ときは九月中旬。キャンプ付近の交番に一人の米兵が運ちゃんを連れて何事か喚きながら飛びこんできた。話をきくとこの兵隊、私用でキャンプ前から横須賀駅までタクシーに乗って行ったが、料金は二百七十円だった。ところが帰りに別の車を拾ってキャンプまでくると請求された運賃が同じ距離でありながら三百二十円、差引き五十円高いといって怒ったわけ。

いまこのタクシーも当時の三百台からくらべて百台を割ってしまった。

番台娘

続 風流交番日記 ⑩

中村 獏

同僚のことだから悪口は書きたくないが、酒田君は決して美男子ではない。鬼瓦というこわいアダ名がある位だ。その酒田君がことともあろうに何百万とかの資産がある家から婿に望まれて、近く華燭の典を上げる運びになったという。

『へえー、世の中は広いよ、もの好きもいるものさ』

『身許確実、身体壮健を認められたんだな』

私達はオカヤキ半分にそんな噂をした。

その銭湯は交番の近所だからみんなよく知っている。この街で初めてテレビを備えたのはこの家だった。娘さんは二十一、なかなかの美人で風呂屋だから大変垢ぬけしていた。

それでは酒田君がどうして彼女の目に止ったかというと、あちこちの情報で次第に様子がわかって来たが、発端は約一年前から始まる。昨年の冬頃のことだという。

冬の勤務は大変寒いので、私達はあたたかいところばかりパトロールしたがる。夜中に起きていてあたたかいところというと、銭湯のボイラーの前、ストーブのある守衛所、深夜業のパン屋等々相場はきまっている。凍るような冬の夜、こういう場所で十分でも五分でも体をあたためると、それこそ生き返った思いがすることは、私も経験して知っている。これは俗に『油を売る』といわれている所業だが、銭湯で火の用心を説き、守衛の居眠りを注意し、パン屋の騒音に警告を発するのも立派に公僕の任務ではあろう。

酒田君は銭湯を狙った。そして娘さんと相識る機会を摑んだのである。

『いかがですか、一風呂浴びませんか、お寒くて大変でしょう』

『すみませんな、寒いときには何よりのご馳走です』

これは明らかに任務に反することだが、酒田君はすすめられるままに一風呂浴び、やがて二風呂になり五風呂になった。

すでに客の帰った銭湯で、ときに使用人の娘さん達に肩を流して貰ったりしながら、ノーノーと湯につかる気分は、よかったろうと思われる。

いったい、銭湯の娘さんなどは、これは私がある銭湯で実際にきいたことだが、最初の三日を除いては男の裸体などへとも思っていないのだ。一々裸を見てワクワクしていては商売にならない。しかし、しかしだ。男性同様、特別に立派な体格を見せられたときなどそこばくの関心は動く。

ある日酒田君は銭湯の一人娘からこういわれた。

『酒田さんは立派な体格ーねえ、映画につれてって！』

体格をほめて映画をおごらせた、などと思うのは女心を知らないというもので、娘さんは酒田君を恋したと解すべきである。それから話はトントン拍子に運んで現在に至っているのである。

ある非番日に私は、胸に一物あって酒田君を風呂に誘った。銭湯にではなく柔道場にある本署の風呂である。

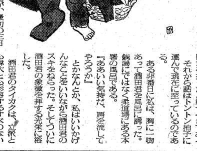
『ああいい気持だ、肩を流してやろうか』

とかなんとか、私はいいかげんなことをいいながら酒田君のスキをねらった。そしてついに酒田君の象徴を拝する光栄に浴した。

酒田君のタイカクは、立派とも偉大とも形容するすべのないようにたくましかったのである（ああこれじゃあ、娘さんが惚れるのも無理がない、男の私でも羨やましい…）

私はひそかに感にたえたことである。

（え・永田 力）



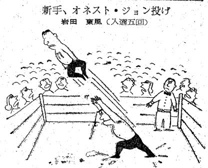
漫画日展



作品の発表は毎週日曜（本欄）と木曜（三面）の二回とし、優秀作品には特選の制を設け入選十回、または特選三回パスの方は『特別会員』として随時『課題』などで活躍していただくことになっています。なお特選には特賞、入選作には賞金を贈ります。



立読みラッシュ　有吉 まこと（初入選）



新手、オネスト・ジョン投げ　岩田 東風（入選五回）



狩猟シーズン来る　鈴木忠三（入選四回）
『旦那、うまく当てて下さい…』

狩猟解禁　小野寺 宏（入選二回）



交通安全旬間余聞　西山 逸郎（初入選）

風流世界譚

……（日　本）……

三人もの子供を持つある夫婦、折よく日曜の朝から三人の子供達が揃って山へハイキングに出かけ、久し振りにゆっくりしようと、新婚時代みたいな気分にひたっておりましたが、そこはやはり親ですから、ハイキング先での子供達に間違いでもあってはと心配でどうも落ちつきません。『あなた大丈夫でしょうか子供達…』『うん、まさかとは思うが帰って来るまでは安心できないな』といったあんばい。

ところが予定の夕方になるとみんな元気で帰って参ります。『やれやれ、やっとひと安心』夫婦はホッと胸をなで下しましたが、子供達は呑気なもので、楽しかった山での話などをペチャクチャとしゃべってなかなか寝ません。そこで父親がイライラして、『お前達は早く寝ろ』と怒鳴りつけ、母親も『楽しかったお話は明日なさいね』と意味深長にいいますと高校生の長女、『お母さんたちもそうなさる？』

あすの運勢

高島 象山

＝十月三十一日＝

▲一月生ー何事も急変し不用意の為め迷惑災禍にあい易い外出注意
▲二月生ー堅実にして一応に努力すれば予想以上の効果あり旅行吉
▲三月生ー物事に自信と確信を失い不安を抱いて自ら失敗を招く也
▲四月生ー気長きは成功し気短きは失敗あり落ち着いて静なるは吉
▲五月生ー物事に力を入れて努力すれば平穏の内に有利に至るなり
▲六月生ー周囲から邪魔が起りて思い叶わず失敗あり控え目によし
▲七月生ー運気衰退して収縮し活動柔弱に陥り或は他動的に災あり
▲八月生ー政策に捕れず臨機応変の態度に進めば有利にして効あり
▲九月生ー気運沈んで怠惰を生じ事を乱し信を失う損失迷惑有易し
▲十月生ー環境の情勢を忘却して失態を生じ或は自己を過信し失敗
▲十一月生ー何事も多少の苦労は起るも辛抱すれば努力効を奏す也
▲十二月生ー何事も我意剛情から悪評を受け人気を失し失望失敗有

モダン烏人記

ダンス場閉鎖

昭和十五年十月三十一日、中日事変下の時局は次第に追いつめられ、このの日を最後にさしも栄えたダンスホールも一齊に火を消すことになり、明日からはもう踊れないと各所で最後のお別れパーティが開かれ、どこのホールも身動きならぬ賑わいを呈した。

ダンスがわが国で流行り出したのは、明治初年の鹿鳴館時代を別とすると、大正十年頃からで、その頃でも国粋家が刀を抜いてホテルのダンスホールに暴れ込むようなこともあった。関東大震災後の大正十五年には、まだ市内に十ヵ所位しかホールもなかったが、昭和に入ると、トーキーによるジャズの普及に呼応してあちこちにダンスホールができ、ダンサーという職業ガールがふえて、カフェーの女給と覇を争うようになった。

なかには星玲子のように映画スターになったものや、文士夫人に昇格した者もいたが、十三年七月にはご婦人と学生、未成年者が入場禁止を食い、お客は姓名、職業年令を書かされ、次第にさびれて、閉鎖の時にはやっと千軒位のホールが残っていた程だった。変る世の中の姿を思わせるものだ。（鮭）

東海毒婦伝

青とかげ (114)

野沢 純
土端一美画

江戸の八巷（七）

黄八丈の格子縞に、黒衿かけた半纏着という――なにさま武家屋敷にはふさわしからぬいでたちを、チラと一と目で、

『おや――』

と見はった。

『誰かと思やァ、お前さんは亀清にいた、おちかじゃないか！』

『……』

向うもびっくりしたらしい。それほど意外であったからだ。

『ほほほほ……』

くわえギセルでお園は笑った。

『こりゃ又、珍らしいところで逢ったもんだねえ』

源十郎と見くらべて、女心の火花が微妙に散った。

尾張屋喜兵衛の内儀として、堂々とやっていた頃、毎度ひいきの行きつけにしていた柳ばしの料亭亀清。

あの頃は、ほんの店の小おんなで、お園からタマに小粒の一枚も祝儀に貰えば、赤い顔をしてお辞儀をしていた。その小おんなが今見れば、いっぱし女房ぶりをしていつの間にやらおさまっているから、おかしくなってきたのだ。源十郎が、手を出しそうな女でもある。

『ははは……』

男のようにお園は笑った。

『源さん――それはそうと、さっきあたしが、奥方さまのお越しだといったら、玄関番の青二才が、ヘンな顔をしていたっけが、ほかに女でもいるのかえっ』

坂崎を旦那と呼んでいた頃とはまるで打って変った物いいで、『いえさ、お前さんのことだから、一人や二人いてみたところで、格別何の不思議はないが、これだけの屋敷の中に、めかけ手かけはともかくとして、女の一人くらいはいるんだろうねえ。いたとしたら、お茶の一杯も出させたらどうなの？』

桐の火鉢へ横座り――きりりとしめた帯の間から、取り出したのは、利久張りの細キセル。

たばこを一服吸いつけている処へちょうど出て来た一人の女。

『こいつはいいや。まんざら知らない仲じゃァなかった。坂崎源十郎の身の回りを世話しているのが、どんな女だと思やァ、昔の知れたおちかとは、あたしも一そ気が楽になったよ。ちかちゃん――何も悪びれることはねえわな。こっちイおいで、また小粒の一つも、祝儀に呉れてやろうかね。あっははは…』

人をくった笑いである。

こうなると主客顛倒。どっちがあるじかわからない。

さすがの源十郎も、半分あおられた格好で、向いっ風に砂っ挨りをあびたような顔をしている。

いよく以て勝ち誇ったお園である。

『ちかちゃん――時にもののついでだ。念のためにいっておくが、ここにいる坂崎には、私の恩がかかっているんだよ。いいかえ。そのつもりでこれからも、万事こまかくつきあっておくれよ』

そういわれても、昔があるから、おちかとしては、貫禄におされた格好で、答え返すすべもない。

いきおいもじくしていると、

『時にあたしは、お腹がへっているんだ。亀清は遠いけれど、近くでうなぎでもとって貰おうじゃないか。キモスイをつけてね。わかってるだろう。あたしゃ昔からヌソは嫌いだよ』

お前のようなメソッ子は、ものの数じゃァないんだ、といわんばかりに、

『アブラののった中ぐしがいいね。ついでに供待ちの奴さんへも、寿司の一つもとってやっとくれ』

あたかも一家のあるじの如く、のっけから命令調子に云いつけておいて、

『時に源さん――』

坂崎に向って軽く源さんと呼びかけながら、

『供待ちといやァ、奴さんたち二人へ、今のうちに五十両ずつもやってご苦労ばらいをしておくれな』

あくまでも、人をくったいい方である。



恋の酒・ローランドカクテル

アベック向きのトリスバー

トリスバーは数多いが、新宿では何といっても三越裏、改正通りの『ローランド』に止めを刺す。名前は悪いが、強精の酒として"ホルモンカクテル"がある。本紙の瓦版以来お馴染深い読者もあろうけれど、ここへ来たら『ローランドカクテル』といった方がよい。彼女が聞いたってその方がロマンチックだ。

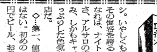
二人で飲んで静かに語っていれば二、三分にしてハートが炎え始める。あとはお二人の自由だから男性諸氏だけの胸に秘めて誘うこと。ハイボール50円、ストレート40円、珈琲はクラッカーつき60円だ。シャレたカウンターの世、奥にはとりわけ静かなロマンスシートも数脚あり、いつもアベックで満員のバーだ。

新宿の憩いの店

要通り『リーベ』

二人で新宿を歩いて、そしてどこか静かな喫茶店を探しているなら、新宿東宝裏、要通りの『リーベ』に行くといい。ドイツ語で愛を意味するこの店は、二人にとってこの上もない一時の憩いの場となろう。

その名のように、甘く囁くようなメロディーが、いつも高級電蓄から流れているし、ボックスは柔く深々と身を沈めるに足る最高品だ。美しいマダムの上品さもさることながら、数名のウエイトレスはみんな親切。二人の囁きの邪魔になるようなことはあるまい。もし珈琲だけで物足りなければ、地下にはサントリーバー『宿』がある。ハイボール50円、ストレート40円と値段も安い。



アルサロの安さ・ナイトクラブの豪華さ

色気も満点 浅草『エデン』

◇…キャバレーといえば、女性が怪しげなサービスを引換えに高い酒を押売りする所だという。こんな既成観念がつきまとって、自然客足はナイト・クラブやアルサロに移る気配が濃厚だ。しかしそれは他店のハナシ。いやしくも浅草国際通りにその偉容を誇る『エデン』ともなれば、ナイト・クラブの上品さ、アルサロの安さで充分愉しみ、しかもキャバレー特有のたっぷりした色気もあろうという店だ。

◇…第一、値段がアイマイではない。初めの一セットは三百円でビール、おつまみ等がつき、しかも選ばれた美人のお酌がつくその他一銭の出費も不要というシステムだ。ビールは一本二百円、お酒が一五〇円だから、これを追加すれば……?円十Xで OK。フトコロにいくらあるかを考えた上で安心して飲みかつ遊べる点はナイト・クラブ以上の明朗さといえよう。

◇…しかもナイト・クラブに勝って劣らぬのは一流バンドと豪華ショウの上演だ。歌あり、踊りあり、ヌードありで観るだけでも結構愉しいが、その上応募一千名の中から選び抜いた山ノ手、下町の美女が二百人。ベストサービスをつくしてくれるとあれば、これはもうクラブやアルサロでは味わえぬ豪華版である。

◇…専属バンドはタンゴにエデンカルテット、スキングにロディ・ファイブが二百坪の大社交場にけんらんとアヤを添えれば拡声器は全店に十二個を配置しシネマスコープ級の立体音を伝えてくれる。正に近代キャバレーの圧巻だろう。

目下恋人物色中

ロマンス喫茶『クリッパー』の好子嬢

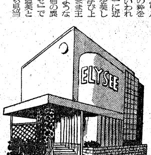
ここはありきたりのサービス喫茶ではない。いうなればロマンス茶房『クリッパー』である。場所は有楽町民生局隣りのご存知アルサロ『クリッパー』の昼間営業なのだ。したがってこのシステムは午後六時迄だから念の為。

雰囲気は上品で設備は豪華、百名の美女から好みのタイプを選び出すのはちょっと至難だろうから始めての方には21才の好子嬢を推選しておこう。目下恋人物色中だというから、当ってみるといい。

珈琲は一杯70円、普通の喫茶店並みだが、ダンスを踊ってもいいとなればナイト・クラブのシステムだ。ミス・東京クラスの美しい女性ばかりが百名もいて、あなたと共にロマンスシートに憩えば映画や小説の話は愚か恋も囁けようという次第。

ナイト・クラブ一歩前進

フランス調をゆく ソシアルホール『エリゼ』



★…フランス王朝華かなりし頃、ルイ十五世の愛寵を鍾めたマダム・ド・ポンパドールの名を知っている人は多かろう。ずば抜けた色兼備の麗人で、フランスの文明を創った女性の一人だが…名を『エリゼ』ということ迄は知らない人が多い。当時第一流の建築家モレーの設計によりルイ王朝の絢爛たる装飾美の粋をこの一堂に集めたものといわれているが、その『エリゼ』に近代感覚を加え、建物全てを美しい調和の中にくっきりと浮び上らせ、近代にいて、そのまま王朝時代のフランスに遊ぶような気分にしてくれるのが新宿の異彩ソシアルホール『エリゼ』である。恐らくこれ程の構造美と雰囲気をもつ店は銀座にも見当るまい。

★…淡い藤色の彩光の下に、くっきり浮ぶシートは紅。椅子も柔かいクッションで、赤と黒の壁面は『フレンチ・カンカン』のムーラン・ルージュの幻想味暗すぎるナイト・クラブと比べれば遙かに明るく、しかも漂うロマンチシズムはクラブ以上だ。静かに演奏される専属バンドのリズムに乗って、二人、そっとフロアにすべれば、ここは二人の天国でもあろう。

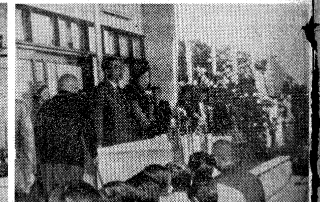
★…席料二百円。ビール、カクテル各三百円。踊りかつ語り明かしても決して退屈するようなことはないが、内部にはシックなロータリーバーがあって席料は不要。通人ならここで一杯やった後フロアに踊り、音楽、歌を愉しんでタップリ遊ぶという手もある。

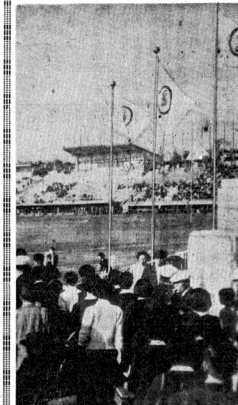
★…冷暖房完備。設備、調度は第一級で、あくまでフランス調をゆくソシアルホールとして恐らく東京初の店といえようかマネジャーは銀座育ちでフランス大使館に勤めたというベテラン福野氏。サービスは全てボーイさんだが、別に洗練されたバリ好みの美しい女性も数名いる。独りで行ったら、誘ってみるのもいい。二人を恋人同志の気分にもしてくれよう。場所は都電終点から桜通りを突当り右にちょっと折れた所である。

第10回 国体華やかに開幕

両陛下迎え、秋晴れの下

一万五千若人の熱戦譜





写真は会場にお着きの天皇、皇后両陛下（天皇陛下の左後向き黒服は鳩山首相）下は国体旗ひるがえる三ツ沢競技場（横浜共同写真）

【横浜発】戦後の混乱期に〝国民のためのスポーツの祭典〟として誕生した国体にとってひとしお意義深い十度目の祭典はきょう両陛下をお迎えし、九市四十六会場で一万五千の精鋭によって五日間にわたる大会のふたを開けた。

この日午前十一時『君が代』の吹奏裡に両陛下が貴賓席にお出ましになった。高らかに鳴りわたるファンファーレで開会式の幕が上り場内十ヵ所に陣取った県吹奏楽連盟、県警音楽隊など千四百人の奏でる勇壮なマーチにつれて一万四千三百余人からなる役員選手団の入場が始り小湘神奈川県選手団団長の先導で四人の選手に捧持された大日章旗が進む。選手団のトップをきるのは北海道、そして北から南への順で青森、岩手、宮城、秋田の選手団が力強い場内行進を始めた。各県選手団の先頭に明記された各県のプラカードが秋の光に鮮かに映える。

神奈川県を最後に入場を終って正面スタンドにむかって整列を終るや内山神奈川県知事が開会を宣告した。その刹那どよめくような場内の歓呼の内に聖火がとびこんできた。この聖火を捧持して走るのは今年喜寿を祝った日本スポーツ界の長老平沼亮三氏である。昔とったきねづかとはいいながら文字どおり力強い足取りでトラックを一周、聖火台への石の階段をかけのぼっていく。再び鳴るファンファーレとともに聖火台にあかあかと火が点じられ、平和を象徴する数百羽の鳩が放たれ大空高く舞いよっていった。

このとき昨年の開催地北海道からはるばる二千余キロ奥羽[illegible]県をリレーされた聖炎が[illegible]奈川県陸協会長を隊長[illegible]一隊の手で会場に到着[illegible]齊唱と共に国旗が高々[illegible]続いて聖炎旗と神奈川[illegible]左右に掲揚された。続[illegible]挨拶、松村文相の[illegible]陛下からお言葉が[illegible]これにお答えした[illegible]三唱、選手代表[illegible]一高の吉沢徳則選[illegible]強く宣言を終っ[illegible]の社会体育団体の[illegible]式を閉じ、二十四[illegible]終った。

皇族席も大入満員

無理をした新潟の大量選手団

○…午前十一時四分吹奏楽とともに天皇陛下が会場正面のスタンドにお着きになった。陛下はグレイの背広、また皇后陛下は毛皮のスーツという共に地味なお服装。続いて国体は初めての清宮様はじめ秩父宮妃、高松宮妃、三笠宮殿下などの皇族方が席に着かれたが、これだけの皇族方がこられたのは過去の大会には例がなかった。また鳩山首相も不自由な体を運んで入場。

○…選手団の入場式では先日大火に遭った新潟県が県の『火事のために選手が少くみじめな思いをしては』いう思いやりからこれまでになかった大量の選手団〝新潟県二百五十三名〟[illegible]げられると満場から[illegible]手がおくられた。

東京に強風注意報

中央気象台は三十日夕刻『東京地方は同日夕刻から北の風が強くなろう』と[illegible]意報を発令した。強い寒冷前線が北海道の日本海沿岸地方を[illegible]十キロぐらいの速さで[illegible]しており、きょうの[illegible]地方を通過する見込[illegible]前線の通過後は北西の季節風[illegible]最大風速は十二メートル[illegible]は十五メートル内外に[illegible]おそれがあり[illegible]お前線の通過に[illegible]乾燥するので火の[illegible]されたい。

東京駅の改札係が謎の死

三十日午前一時十分頃東京駅乗車口便所内に同駅改札係森戸正二さん（三〇）が倒れているのを同僚が発見、日比谷病院に収容したが間もなく死亡した。丸ノ内署の調べでは外傷もなく前にてんかんで倒れたことのあるところから発作によるものとみているが、死因に不審な点があるので三十日解剖する。

成績を苦に服毒 高校生

三十日午前八時ごろ品川区小山八の一〇九八会社員芦田金之助さん（四五）の次男茂君（一七）＝慶応高校二年生＝が伯父の目黒区大岡山七〇旭屋ベーカリー唐鎌春次さん方（五六）でプロバリン百二十錠を飲み自殺したと東調布署に春次さんが届出た。遺書はなく東調布署で調べているが、伯母の登志子さんの話によると茂君は成績が落ち、最近学校から家庭に通知があり、両親に叱られるのを恐れ自殺したものらしく、二十五日家出、旅館を転転として二十八日に唐鎌さん宅を訪れたものだった。

学習院生ガス自殺

三十日朝七時半ごろ渋谷区千駄ヶ谷四の七七五旅館『花川』の三畳間で経営者の川上容徹さんの次男哲夫君（二〇）＝学習院高等科三年＝がガス自殺をした。原宿署で調べているが女友達との仲を両親に意見されたことを悲観、自殺したものらしい。

騒がれて逃走

世田谷に自動車強盗

二十九日夜十一時十五分ごろ世田谷区代田一の三一七先で中央区新佃島西町月島タクシー運転手野上博さん（二〇）は同町一の三一三付近から乗せたいずれも十八、九才の二人組に走り出すとすぐ『金を出せ』と脅されたが、騒いだため何もとらずに逃走したと北沢署に届出た。

工事場で転落重傷

三十日朝五時四十分ごろ渋谷区金王町三六東急文化会館作業現場で高さ三十尺のところで作業夫佐藤中の世田谷区弦巻町三の六五八人照夫さん（二〇）は誤って地上に転落、付近の大下外科医院に収容されたがヘルメットをかぶっていたため頭部挫創と全身打撲一ヵ月の重傷だけで助った。

◇六大学野球明法二回戦（十一時半神宮）

法政		明治	
（中）	菅沼	（右）	鈴木
（遊）	中野	（三）	日下部
（右）	斎田	（左）	沖山
（一）	板橋	（一）	近藤
（二）	小坂	（二）	篠崎
（左）	鷲	（中）	水野
（三）	広川	（捕）	松田
（捕）	古島	（投）	杉本
（投）	根岸	（遊）	高口

法政 100 000 020 0
明治 000 000 000 0

中山競馬四日目成績 ◇第一サ（千百）❶ミゾル（八木沢）1分9秒0❷メイヂオー❸コンカード（単）130円（複）110円170円（連）❺―❸460円 ◇第二ア千❶ハリマオー（蛯名）1分5秒4❷キタヒメ❸ヒガシホマレ（単）120円（複）100円140円340円（連）❺―❷400円 ◇第三ア（二千六百）❶レイキング（土岐）3分1秒3❷エース❸ゴールドストリーク（単）100円（連）❷―❶130円（重）❺―❻1―❷190円 第四サ（二千六百）❶ヒシマサヒデ（本田）2分52秒1❷ハチトモ❸ノチカラ（単）150円（複）110円170円（連）❹―❺430円

あすのスポーツ △国体 第二日（神奈川県下）△野球 東都大学リーグ（十一時半、駒沢）△アイス・ホッケー 五大学リーグ（五時、アイス・パレス）△女子野球 秋季公式リーグ（正午、東京生命）△競馬 大井第四日

◇本日は『ミナトヨコハマ』休みます。

一日三盗〝ビル荒し〟

スキだらけのお役所

午前、午後、夕方の三部制で荒稼ぎ

テレビも買い込み 豪しゃな住宅設計も



ビル荒し萩田

元自衛隊の三等陸佐（萩田少佐）が、大蔵省、文部省、運輸省、人事院、労働省、農林省[illegible]

[illegible]

○…まず彼の三部制の手口は、午前の部、午後の部、夕方の部の三部に分けて行われる。[illegible]

○…彼は一流会社の重役室を[illegible]

二十七日正午ごろ同ビル内の某社役室を訪れ重役会議で主人公も書もいないところを見きわめて忍び込み、洋服掛にかかっていた上衣から現金十万円を抜いた。『官庁は廊下をウロウロしていてもずさんだから別にあやしまれないが、普通の会社だと用件は？ 誰に面会か？ などときかれたりするので難かしい。しかし重役室はねらいいい。ノックして返事があったら〝部屋を間違えました〟と出てくればいいんだから……』とうそぶいている。

○…彼の素顔を少しのぞいてみよう。朝鮮の京城高等工業学校を卒業後現地の会社に勤めていたが戦後は会社員四年、材木商三年、自衛隊の技術三等陸佐として六ヵ月勤務している。自衛隊を退職した動機は、軍隊生活の経験のない

元自衛隊陸佐の〝悲願〟

彼としては規律のきびしい生活に耐えられず、自分から辞表を出したと自供している。自衛隊をやめてからは、保険の外交員などをしていたが、妻一人子二人を養うには余りにも収入が少なく、たまたま保険の勧誘をしていた時、オフィスの人たちが見知らぬ男が入って来てもあやしみもせず、ひょいと手をのばしたハンドバッグの口から財布が自分の手に泣るように入ったのがきっかけで、保険勧誘の片手間にせっせと盗みを働き始めた。

○…面白いように苦もせずに金が入って来る。自宅には新しいテレビもラジオもそろった。だが残念ながら借家住い。『男子生れて家くらいは建てたい』という欲望がムクムクと彼に起り、建築家出身だけに早速設計してみたが、どうしても二百五十八万七千円かかる。二百五十八万七千円を目標に泥棒日記もつけ始め、盗みに全力をそそぎ始めたわけだがその予定表をのぞいてみるとざっと次のような豪華版。

本屋五十五万一千円、付属屋（車庫）十万五千円、土地五十万円、自動車六十万円、テレビ十七万円、冷蔵庫十五万円、洗濯機三万円、湯沸器三万円、食堂セット七万円、応接セット十五万円

などなどで、映画に出て来るような中流サラリーマンの家庭設計である。目標額の四分の一足らずで彼の犯罪日記は閉じられてしまったが、『人間が人間らしい生活をしようと思っても出来ないいまのニッポンでは、こういうことでもしなければとても親子四人が明るく生活することは出来ない』と彼は今更ながら自分自身の非を責めながらも貧困な政治をなげいていた。



〝和敬静寂〟のダイゴ味満喫

明治神宮で恒例の献茶式行わる

三十日午前十時から明治神宮神前で恒例の献茶式が都内茶道関係者千五百名が集まり古式床しく行われた。茶道とあって婦人の姿が多く表千家々元宗左氏の献茶があったのち野点（ノダテ）に移り、それぞれフクサさばきも鮮やかに点茶の腕前を披露〝和敬静寂〟の茶道のダイゴ味に〝ウキ世〟を忘れた一日を過した。



写真は明治神宮前の野点

消防車のサイレンに異常興奮

ウソの一一〇番に渋谷署員へたばる

とんだ急報狂少女が捕まって〝ホッ〟



こぼれ話

『いや驚いた』と渋谷署の巡査が音をあげた話――というのは最近毎晩のように『大変です、お父さんとお母さんが出刃包丁で殺されている』と百十番に急報する娘があるので神経質になった同署員は躍起で捜査の結果二十四日遂に犯人を捕えた。この少女は木林景子（一七）＝仮名＝という戦災孤児、岡山、徳島などの少年院を転々とした札つき少女で、渋谷の某料理屋に女中として住込んでいるが、パトロールカーや消防車の〝ウーウー〟唸るサイレンの音が大好きという変りもの。

『あの興奮がないと寝むれないといった一種の異常児。

二十九年十一月警視庁捜査一課に電話をかけおどかしたのが病みつきとなり、それからというものは閑さえあればあれやこれやとデ　ラメをつくっては電話をかける。いままで都内の警察官は一少女のいたずらにスッカリ悩まされ赤坂署の某刑事さんの如きはこのため緊急呼び出しまでうけて一ぱい食わされたこともあり、彼女つかまるの報に『これで休みの時もゆっくり寝られます……』とホッとしている警官がずいぶんあるとのこと。

スリを捕え逆に恐喝

浅草でニセ刑事ご用

墨田区寺島町五の六一無職福田三男（三七）という男、さる四月上旬台東区浅草東武ビルのスリをパクリ――これに味をしめ、以来ニセ刑事になりすまして同劇場は木戸御免、スリを見つけると陰に呼んで調書をとるふりをして恐喝を働いていたが、十月中旬官名詐称、恐喝で本物の浅草署刑事に化けの皮をはがされた。さてこの男約半歳のニセ刑事生活を述懐して曰く『おい、こら、というあのダイゴ味？は一生忘られません、そうでしょ？　刑事さん……』に係官ただ呆れるばかり。

ダ劇場で芝居をみている中年婦人の買物籠から財布を失敬する怪しい男を発見し『この野郎、人さまの物に手をつけやがってちょっと来給え……』と廊下に引っぱり出した。劇場の人が『あの刑事さんでしょうか、ご苦労さまで』と丁重に挨拶すると『ウン。俺は本庁の刑事だ、最近どうもスリが多くてな』と胸そり返して、出されたお茶と菓子

夜ごと女給を送り届ける

矢口に粋なお巡りさんの護衛



大田区矢口町飲食店女給殺しがあってからというものは池上の女給さん達はガタブル。『あなた今夜襲われたらどうする…』『あたし痴漢の急所をギューッと握りしめてやるわ…』といった強い女性も中にはいるが大半の大和撫子は恐怖ノイローゼにかかっている。殊に池上駅前食街の十七軒二十数名の女給さんたちの店仕舞を待って同方向に帰宅する人たちを幼稚園の生徒よろしく引率して無事に送り届けている。

〝飲食街〟の女給さんたちは震えあがり、深夜現場近くの寂しい道を通って帰宅するのがきらいだという騒ぎに、みかねた池上駅前交番のお巡りさんは粋をきかせて『それじゃ、僕らがあなた方を痴漢から守ってあげよう』とこのところ毎晩同飲

『これで私たちも安心して働ける』とこの好意に女給さんたち感謝感激、ところが口のわるいのが若い巡査とロマンスの花が咲きゃあせんかと他人のせんきを気にやんでいる。

放火？納屋を焼く

三十日午前五時ごろ杉並区三谷町四五農業星野繁之助さん（六五）方の納屋から出火したが、発見が早かったため約九坪の同納屋のはめ板、天井など若干を焼いただけで消し止めた。荻窪署で調べているが出火場所はもみがらの束ばかりで火の気がまったくないところから放火の疑いもあるとみている。

世田谷でしおり戸に放火

三十日午前二時五十分ごろ世田谷区代田二の六八三公務員宮前邦雄さん方垣根の柴折戸付近から出火、垣根と屋根裏平坪を焼いた。北沢署で放火とみて捜査している。

田端で映画館ボヤ

三十日午前四時半ごろ北区田端新町三の一一八甲子映画劇場（支配人斎藤猛氏）の切符売場から火が出ているのを通行人が発見、座布団、机、カーテンなど焼いただけで消し止めた。滝野川署の調べではタバコの火の不始末から。

独眼灯

○…スリラー映画『裏窓』のグレイス・ケリーはジェイムス・スチュアートとの濃厚きわまるキッス・シーンがなかなかよかったとファンには好評だったが、これはキッスが長すぎてクビになった女優の話。

○…アメリカ某テレビ会社のディスク・ジョッキーの時間、お色気たっぷりなクレオ・ムアー嬢を迎えて軽いアクションで観客を喜ばせていたところ、熱演すぎてかキッスのシーンが必要以上に長くなってしまった。こんなことはこの種の番組では珍事中の珍事と大騒ぎ。

○…ムアー嬢、ついにテレビ会社をお払い箱になってしまったが、彼女の人気はこの事件でうなぎのぼり、あちこちから出演交渉が舞込んでいる。

【写真は訪れたカメラマンに『あたし、キッス以外もできるのよ』とばかりポーズしたもの】（ハリウッド発UP＝サン）



青春手帳

アベックに向く

神田と渋谷のパール

アベックといっても、チンピラ族でなく、レッキとした紳士淑女の集まるところが神田と渋谷にある。同伴専門クラブの一人者『クラブ・パール』がそれで、神田店は今川橋際竹中ビル地下、渋谷店は渋谷東映前にある。開店以来、その雰囲気が近代人にピッタリくるところから人気を博し彼氏彼女の間では『パール』を知らない者はない程だ。また人気のある所以は一級のナイトクラブの遊びが、ミニマム・チャージ制で一人五百円也ですむところにもあるらしい。この五百円也で、ビール二本またはカクテル二杯のめる勘定だからアベック血なんて悲劇は決しておこらない。カバーチャージは一切とらないから二人〆めて千円也ですむ。ノータイや男同志は遠慮した方がいい。（Y）

続 情炎の千代田城 (284)

岩崎栄　寺本忠雄画

春寒く(五)

重秀も半六も、今度はまたお梨花の怪奇な面に、じーっと瞳を向けている。『ねえ、長井さん。旦那もようく頭を冷してお聞きなさいよ。あたしゃね、地雷火のために、こんな見るかげもないボロボロの女にされてしまったけれど、それだからといって、これは外見だけのことですよ。あたしの器量、覇気、戦闘力というものは、ますます燃えさかりこそすれ、いさゝかたりとも衰えてはおりませんよ。はばかりながら、徳川の代を呪い潰すだけの力と、熱意は、決して消え失せてはおりません。ところであなた方だが、もうこゝまでせっぱ詰ったら、徳川の圧力に負けて腹を切るか——それとも……』『……』重秀は半六の返事を[illegible]



[illegible]

さきほど、水盃に使った長柄の銚子がまだ、床の上にそのままあるのを、片手に取って口飲みに、ゴクン、ゴクンとのどを鳴らし、空っぽにしてストンと投げ出したと思うと、ぱっとひらき直って、『おい、荻原の旦那！ 半六さん！ こういうおもちゃ、いかがでござんす』片手をふところに、短筒と呼子の笛を取り出した。『こいつがズドンと鳴ってさ、この笛がぴーっといったら最後、わっとばかりに、あたしの手下が三十人、それ、そこの庭の植込みからも、ここの床の下からも、どかどかっと飛び出して、あちらの本邸から、こっそり運んで隠してお置きなすった金銀財宝を瞬くうちに裏の大川へ。そこにはもう、ちゃんと三艘の舟が待たせてあるんだよッ。どう？ 男なら——悪党なら、男らしく悪党らしく、所存のほどを、実はこうこう、かくかくだと、肚を割ったらどうなのよッ……。さあ、魚ごころに水ごころ。わからないかねえ』『わかった。お梨花！』重秀が深くうなずいて、きっと胸を張った。『おわかりでござんすか』『いかにもわかった。片肌ぬいでくれ。逃げるんだ。今夜のうちに、金銀財宝を悉く、おまえの人数と持ち舟とで、どこか遠くへ逐電だ。たのむぞ！』『まい、[illegible]

『飛車かい、おまえ。話が変った。おまえとそれから、銀と角とで、ちょっとこの座敷に上っとくれ』いいすてて座に戻ると、半六が奥から、酒を持って来た。庭から黒い姿の、飛車と角と銀と、将棋のコマみたいなのが三人、揃ってあがり込んだ。

私のコレクション ㉔
ニワトリ
中田康子（歌手）



(三)碧、四緑、五黄か八白はともかくとして彼女は酉年生れなのである。そこで定石通り鶏のオモチャや置物を集めることにした。とまあきどっていえばこんな具合なのである。ところが本来の彼女のコレクションとはそんな気のきいたものではない。つまり子供が何でも欲しがって買って貰うあの心理なのだ。部屋中にやたらとオモチャが転がっている。

ゼンマイを巻くとキイコン、バタンと機械体操をする人形もいれば、ガラガラ仕立のとぼけたセルロイド人形もいる。

『エヘヘ、本当はね、デパートのオモチャ売場に行くと必ず何か欲しくなるの。でも買ってきてもしまっておくわけではないのよ。親類の子供がくればあげちゃうの。だけどニワトリだけはあげないことにしてるのよ』と強調する。

なるほど瀬戸やガラスの鶏諸君がオモチャの扇風機のカゲからきまりの悪そうな顔をゴチャゴチャとのぞかせている。

(そ)のなかで胸に風穴の開いているのは胡椒[illegible]

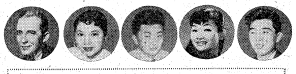
酉年生れの本領？
オモチャは何でも欲しくなる

エ、ニワトリの置物ってあまりないのよ、本当よ。随分探しているんだけど、まだこれだけしか集らないのよ。本当ならもうこの部屋中がニワトリばっかりになる予定なんだけどね……』といかにも残念そうに四方に取りつけてある棚を見回す。彼女のクリクリした瞳がそういえばニワトリの眼に似てきた。これで首をすくめてキョトキョトすれば決して丑年や申年生れとはみえそうにない。

『アタシはねーエ、今迄ラジオでも舞台でもそれにテレビだって普通のお嬢さんを演らせてくれないでしょ。いつでも三枚目かマンボ娘なの。本当は[illegible]いし、二枚目のシャンとした娘役のつもりなんだけどねーエ。やっぱりアタシはニワトリに似てるのかしら。だってそうじゃない。ニワトリって卵が先かニワトリが先か判かんないし、適当に人間に親しまれてサ、赤十字募金の手先にもなるし。結局チキンライスか何かで食べられちゃうし、どうしたって道化者というところじゃないの』

(こ)ういった彼女は机の上にバラバラと並べたニワトリをつまんでフッと吹いてみせた。彼女のいうこの道化者は瀬戸だから、吹いたからといってもピイともコケッコともいわなかったが、立上った彼女がホッと大きく溜息をついたらば、豊かで立派なハト胸が白色レグホンのようにクックックッと息づいた。やっぱり彼女は酉年だったのである。

レコード界
早くもクリスマス売出し



ようやく十一月の声をきこうというきょうこのごろ、早くもレコード界は、足並みをそろえてクリスマス・レコードを発売、『きよしこの夜』や『シングル・ベル』を競争で奏でている。さて、それでは今年のお好みどころは如何に？【写真は左からビング・クロスビー、江利チエミ、旗照夫、雪村いづみ、小坂一也】

逸品揃いのクロスビーもの

デッカ (テイチク)からはEP盤で、ビング・クロスビーの『メリー・クリスマス』が出ている[illegible]

一般向きEP盤

キング 江利チエミの『ジングル・ベル』[illegible]

[illegible]ほかの各SPがある。

洋盤ではロンドン・レコードのマントヴァーニ管絃楽団『マントヴァーニ・クリスマス・アルバム』十吋LPが牧人羊を、天楽え、諸人こぞりて、聖し夜ほか六曲を収めてたのしい。ほかにキャピトルからレスポールとメリー・フォードのEPで『クリスマスを祝って』『サイレント・ナイト』ほかが出ている。もう一枚ダラス・フレージャーとジョー・フィンガース・カーによる『クリスマスは私の誕生日』のEPがある。

[illegible]の『パリのクリスマス』ユージーPがある。[illegible]ン・コスマン楽団(?)の『別れのワルツ』ほか、レイ・マーチン楽団の『ホワイト・クリスマス』など、SPで五、六がある。邦盤の方では小坂一也とワゴン・マスターズの『ジングル・ベル』旗照夫の『ホワイト・クリスマス』のワン・ダブル等三枚のS[illegible]

シャンソン盤

コロムビア 圧巻はティノ・ロッシ(サンタのおじさん)シャルル・トレネ(おばあさんこれが紐育)リュシェンヌ・ドリイル(サンタクロースは旅行中)エディット・ピアフ(街のクリスマス)など有名なシャンソン歌手を動員した八曲を入れたLP『クリスマスのシャンソン』だ。LPでは、ほかにレッドランド大学合唱団の『クリスマス・キャロル集』があり、EPではアリア集、合唱曲集などのほかトレネ、ドリイル、ボワイエなど[illegible]

いづみのマンボ調

ビクター 洋盤ではスリー・サンズ・ウイズ・ストリングスの『スリー・サンズ・クリスマス』がEP、SPともに面白く、邦盤で異彩を放っているのは雪村いづみの唄で、いま流行のマンボを採り入れた『ジングル・ベル・マンボ』。お子供向きには古賀さと子の『ジングル・ベル』と田端典子の『きらめく星よ』とがある。クラシック調ではオルガンのサイレント・ナイト』とペギー葉山、高英男の『シャンソン・プール・ノエル』『別れのワルツ』を収録したEPが一般向き。お子さま用には近藤圭子の『ジングル・ベル』『たきび』のワン・ダブル、近藤圭子、高畑万智子に東京少年合唱隊が加わった『きよし[illegible]

日曜サロン
ひとりごと
南田洋子



[illegible]捜したらよいだろうかと毎日頭を悩ましている。こんな役をするようになったのだから、私も大人になったのかなァ、なんて考えちゃうこともある。

この間、潮来へロケに行き、小学校のころの先生にお遇いした。『お前も大きくなったね』と頭の先から爪先までジッとみられた時は、他人がみても矢張り大人らしくみえるらしいと、うれしいようなさびしいようなセンチなものを感じた。

自分でも大人かなと思い、ほかの人からもそれらしく見えるカレンダーをみれば、もう十月も終りそうだ。また年がふえる。やっぱり大人になって行くのはさびしい。でも『背のびしている子供』だなんては思われたくない。変テコな矛盾を感じます。撮影中に、例の先妻の子から『お母ちゃん』なんて呼ばれると、ギクッとする年齢ですからね。

この頃毎日々々が大変楽しい。皆さんから『楽しそうだね』なんてからかわれても、本当に楽しんでお仕事しているのだから仕方がない。今年の秋はほとんど青空がみられず、雨続きでユーウツですが、仕事が楽しいんですから快適な秋というものでしょう。

『ひとりごと』なんて、何だかグチみたいな、ひとりよがりのようなことになって来た。しかし、もう少し自分の時間があって、のんびり『ひとりごと』でもいって暮してみたいような気もする。

予想より立派なバンコックの劇場
河盛智恵子から便り

去る二十一日東南アジア巡業に出発した矢田茂一行の踊子河盛智恵子からこのほど本社にあて次のような便りが届いた。

二十二日午後五時バンコックに着きました。一同美しいジャスミンの花かざりをいただき大喜び、花の香りだけでもう南国に来た感じをうけました。私達の出演する劇場はチャレムキャクトという予想とははるかにかけ離れた立派な劇場です。バンコックは都心でも人がハダシで歩いています。昼食によった店は日本人が経営しておりさきごろ映画祭があった時、松竹の人々が来たといっていました

〃ポコは腕白もの〃
秋のおどり 小月と共演？のお猿さん

◎…国際劇場のSKD『秋のおどり』の舞台に、数日前からホンモノのお猿さんが登場して人気をさらっている。この猿は当年三才になるオスの比島猿で、三ノ輪の某動物店から一ヵ月の賃貸料五千円也、保証金一万円也で借りて来たもの。舞台では第三景『ボクは腕白』で小月冴子が抱いて登場することになっているので、楽屋も小月と同室の大幹部扱い。

◎…愛称をポコちゃんというが小月にいわせると『きょうは少しお腹具合が悪くて元気がないんだけど、元気な時はイタズラで処置なしよ。イタズラ盛りの子供よりまだ始末が悪くて、ごらんなさいこの壁。みンなポコちゃんが破いちゃうの。目が離せないわ。でも可愛いものネ。こうやって肩に乗ったり、膝で寝てたりしてると…』とのこと。下級生が作ってくれたというチャンチャンコを着て、ポコちゃんキョトンとした表情でカメラを眺めていた。



【写真は小猿のポコちゃんと遊ぶ小月冴子】

◇　◇　◇

安倍(公房)ら三氏『青俳』へ
純文学作家では二人目



劇団青俳では、このほど正式に作家安倍公房及び早大文学部教授演出家倉橋健及び舞台装置家貫井宗春の三氏を文芸演出部員として迎えることになった。安倍氏は第二回公演『制服』第三回『快速船』の作者であり、倉橋氏は第一回『フォスター大佐は告白する』から同劇団の演出を担当して来た協力者で、また貫井氏は『快速船』の装置を担当した。なお純文学作家といわれる人で劇団に所属しているのは椎名麟三(俳優座スタジオ劇団同人会)に、続いて安倍氏が二人目になるわけである。また松竹の小林正樹監督夫人文谷千代子も『快速船』をキッカケに、同劇団演技部に所属することになった。【写真は安倍公房氏】

河津の『丹下左膳』
日活で製作

日活では林不忘原作『丹下左膳』(二部作)をマキノ雅弘監督で近く製作するが、主人公の丹下左膳には予定された三国連太郎がおりて河津清三郎に変更した。なおほかは山田五十鈴、南田洋子、水島道太郎が出演決定した。

日劇MH次回公演

日劇ミュージックホール次回公演は、十一月三日初日で丸尾長顕、宇津秀男構成・演出『桃色の手袋』と決定。村田正雄、深緑夏代、メリー松原、ジプシー・ローズ、Rテンプル、桜洋子、園はるみらの出演で十二月末まで続演する。

歌舞伎座十一月興行

猿之助、吉右衛門両劇団合同公演で三日初日、出し物は第一部、芸術祭入賞脚本、韮山圭介作、久保田万太郎演出『辺城の人』一幕三場、『酒屋』一幕、北条秀司作・演出、源氏物語『末摘花』一幕『楼門五三桐』宇野信夫作『海女』第二部『女暫』三島由紀夫『芙蓉露大内実記』一幕『俊寛』一幕、村上元三作・演出『雨だれ太鼓』二幕三場『月の巻』主な配役は猿之助(五右衛門、大内義隆)三津五郎(久吉)時蔵(平七、お関、巴御前、丹左衛門)幸四郎(田村麻呂、俊寛)勘三郎(笠麻呂、末摘花、半六)歌右衛門(光源氏、千鳥、芙蓉の前)中車(アシク、宗岸、範頼、百之助)など。

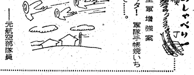
加藤麗子デビュー出演

三十一日五時半、第一生命ホール、マラゲーニャほか。なお加藤は執行正俊門下、昨年度舞踊コンクール第一位、文部大臣賞受賞者。特別出演執行正俊およびギターの勝田保世。

三越落語会

芸術祭参加・三越落語会は十一月十三日午後四時から堀倉吉氏選による左の番組で催される。『佐々木政談』円蔵『うどんや』小さん『紋三郎稲荷』円歌『水屋の富』志ん生『火事息子』三木助『立切り』小文治『双蝶々』円生『富久』文楽。

おしゃべり横丁



空軍増強案

シマッター！ 軍隊手帳焼いちゃって……。

——元航空部隊員

はと笛



▽…艶作ブームの波にのってこのところ浪曲家の地方巡業がお盛ん。女流若手連もあっちこっちから引っぱりダコだが、五月初子もご多聞にもれず目下東北巡演の真っ最中で着いたところは岩手県の釜石港。

▽…このところ彼女ちょっと肥り気味とあって山盛りの銀しゃりも一杯以上は食べないでいたが、釜石は魚港だから今はイカが大豊漁、生きのいいサシミをだされて、これなら色も白くなるだろうし肥りドメの妙薬とホクホクしていたら昼も夜もオカズはイカばっかりなので目を白黒。『イカが相成りますやら』と釜石便りの一席。【写真は五月初子】

都々逸名選
小沢扇太郎選



歪む世にゆがまぬひとりの貴方があって　たよりに生きます一筋に　八丁堀・鈴木忠彌

薄化粧今夜は女房の心も弾む　お鍋も出来てる月給日　船橋・今井ちさと

男出入りでとうとう土地をすてて場末に住み替える　前橋・川端柳

あとっ腐れのないよな嘘を　その場その場でつく憎さ　小岩・仲ノブハチ

夫婦喧嘩も納るらしい　更けて手を引く雨降り　長岡・鈴木六司仙

◇

どこら辺まで本当か嘘か　女ごころに迷う秋　選者

ラジオプログラム　31日(月)

★NHK第1★ 590KC
- 7・45 朝の訪問 対談 白州正子 川喜多長政
- 8・05 テノール ジユゼツペ・デイ・ステフアノ
- 8・30 紅葉三題 笹部新太郎
- 0・30 海舟と松林伯円 邑井貞吉
- 1・05 婦人の時間 劇 つり狐 土方弘ほか
- 2・05 ❶箏曲 笹の露❷尺八 吟龍虚空 木村友斎ほか
- 4・15 劇 最後のキリシタン
- 6・25 オテナの塔
- 7・30 三つの歌特集 もしもしお天気ですか 多元収録
- 8・15 リレー浪花節 滝口入道 時頼の恋 村田英雄 二葉百合子 東家浦太郎
- 9・15 グランド・ヴアラエテイ あるクラクネツト吹きの履歴書 森繁久弥
- 10・15 唐にしき 関種子ほか

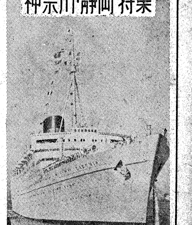
★NHK第2★ 690KC
- 7・30 憲法❺新しい天皇制 佐藤功
- 8・30 モーツアルト❶交響曲第40番
- 10・15 わが家のリズム
- 0・30 朝比奈五郎とダウンビーツ 河辺公一とオールスタージヤイアンツ
- 1・15 第十回国民体育大会第二日実況 バレーボール 高校野球 ボクシング 陸上競技 レスリング 柔道
- 6・40 科学クイズ 札幌
- 7・00 名曲鑑賞 二十世紀の音楽 バンフイールド作曲 決闘
- 7・30 録音構成 腰掛三年 デパート売子・看護婦
- 8・05 座談会 日本音楽の再発見 颯田琴次 田辺尚雄
- 9・00 芸能祭特集リサイタル 現代音楽特集 森正ほか

★ラジオ東京★ 950KC
- 8・35 劇 花ふたたび
- 9・05 チヤツカリ夫人 ウラン・ブームの巻
- 10・10 泉鏡花作 湯島詣❹
- 11・05 恩讐の彼方に
- 0・30 歌のアルバム 吉岡妙子 若原一郎
- 1・20 母の自画像
- 2・00 浪曲ドラマ 怒りを買つた男 国友忠ほか
- 3・40 上村暁作 女戒
- 4・10 あいびき 宮薗千有
- 6・25 バイバイ・ゲーム
- 7・30 四つの明星 鶴田浩二 榎本美佐江
- 8・00 ガラスの青春 芥川比呂志 有馬稲子ほか
- 8・30 私が買いましよう 安西愛子 昔々亭桃太郎
- 9・10 銭形平次捕物控 お発世の恋人 滝沢修 渡辺篤
- 10・15 人情馬鹿物語

★日本文化★ 1130KC
- 8・00 おしやべり 楠トシエ
- 9・30 劇 青春のあるところ 杉葉子 金子信雄ほか
- 10・40 君ひとすじに
- 11・35 劇『東京の人』
- 0・30 歌の花束
- 1・10 ラジオ寄席 円歌
- 2・00 婦人の時間❶修学旅行に行かなかつた私❷サムライの末裔 東山千栄子
- 3・00 東京マンボオケストラ
- 4・00 コンサート・ホール
- 6・00 劇 少年宮本武蔵
- 6・10 平将門
- 7・00 ものまねコンクール 市村俊幸ほか
- 8・00 親子三代演芸会
- 8・30 雪之丞変化 市川中車 岩井半四郎ほか
- 9・00 長短槍試合 木村重松
- 10・40 ❶英文和訳❷解析
- 11・00 青空会議

★ニツポン★ 1310KC
- 8・00 サザエさん 市川すみれ
- 9・45 思い出の歌
- 10・00 花は燃えている
- 11・00 劇 おばあさん
- 0・00 ❶歌うマネキン 春日淳子❷満員電車 円蔵
- 1・00 劇 番匠谷英一作 高地捗❶中村伸郎ほか
- 1・35 やりくりチヨ子さん
- 2・00 劇 君を愛す
- 3・00 浪曲 身延の夜嵐
- 6・00 ポツポちゃん物語
- 7・30 何処へでも 社長放談 山本為三郎 佐々木茂策 植村甲午郎 泰豊吉
- 8・00 浪曲 くろがねの船❸ 玉川勝太郎
- 8・30 フランキー堺歌う大学 シテイスリツカーズ
- 9・00 劇 月遠けれど
- 9・30 歌の二人三脚

神奈川・静岡特集



人口百万を突破
港都・横浜のうつりかわり

その昔(今から六百年前)横浜は久良岐郡平子郷石河村といわれた小さな村で、風光明媚な海岸一帯に、わら屋根が点々として原始的な平和な生活が営なまれていた。

その石河村から横浜村になったのがザット三百五十年前、当時の戸数は百戸、人口は三百五十人に満たないほどであった。それが現在では世帯数二十五万、人口百十万というのだから驚くのほかはない。

徳川幕府による横浜港開港、明けて明治五年に神奈川県庁誕生、同十二年に第一回神奈川県会開会と順次発展をたどり、明治廿二年四月市制施行で、はじめて横浜市が出来上ったのである。その後、発展に次ぐ発展をみせて大正十年頃には本邦第一の港都となり、永いこといんしんを誇ったが、それが太平洋戦争の戦火で、人口は激減、一時は火の消えたようなさびれかたであった。

しかし戦争終結とともに力強い一歩を踏み出して、ここに十年復興ようやくなって、ミナト横浜市は再び、過去の繁栄をとりもどそうとしている。市政執行に当る市長平沼亮三氏は、人も知る日本スポーツ界の功労者であり、第一助役の田中省吾氏はかつて佐賀、香川両県の知事たりし大物助役、ともに市民の人望厚い。(カットは横浜港)

箱根仙境に大集会場
県立観光会館好評さくさく



去る五月に開館した箱根湯元の県立『箱根観光会館』は、全国各方面の組合やクラブの総会集会を始め、各官公庁、会社等の大小会議、慰安会などに利用され、好評さくさくたるものがある。この会館は県が観光行政のサービスセンターとして建設したもので、大ホール、会議室、大小温泉浴場、無料休憩所、喫茶室があり、冷暖房設備のほかにピアノ、映写機の用意もある。使用料は大ホール(千名収容)一時間一、二〇〇円、会議室(一五〇名収容)一時間二五〇円だが、詳細は県貿易観光課か直接会館(電話箱根湯本四四一、四四四)に問合せるとよい。(写真は観光会館)

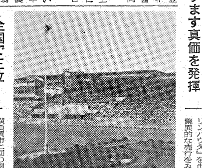
招く伊東温泉郷

東京から二時間半、伊東温泉郷は、いまシーズンを迎えて観光客でごった返している。海あり山ありいで湯あり、酒もよし、魚もよし、女もよし、旅館のサービスまた心温まる想いがする。都塵をさけて温泉郷伊東へ、さあ行こう。

躍進『東洋醸造』
ますます真価を発揮

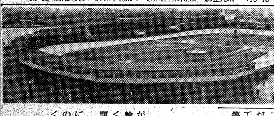
力正宗や紋章でなじみ深い伊豆大仁の『東洋醸造』は、ウイスキー、ポートワイン、味淋、酢、醤油からペニシリンまで生産、静岡県名物の一つに数えられている。近代科学の粋をあつめた醸造工場は、勝地天城を前にした大仁にその偉容を誇っているが、合成酒の生産量は年間二十万石、飛ぶような売行きをしめしている。薬用酒紋章は京大高田亮平博士のすいせんで松葉酒の創製に苦心をつづけた長山長太郎翁(横光利一著紋章の主人公)を客員に迎へて研究、売出したご自慢のもの。最近では『ペニシリンパウダ』を市販、これまた驚異的な売行をみせている。

全国で三位
鶴見 花月園競輪場



近代ギャンブルの王座競輪は、時代の生んだ産業？の一つである。横浜市鶴見花月園競輪場は、昭和二十四年十一月に神奈川競輪KKが建設、神奈川県がこれを借上げて、翌年の五月竣工と同時に県営第一回競輪を開催した。現在年間県が六回、横浜市四回、横須賀市二回の割合で主催されているが、施設も年々拡充、売上げも上昇して過去二ヵ年の実績は後楽園、川崎に次ぎ全国第三位の上位に立ち、健全な歩みを続けている。国電鶴見駅または京浜急行花月園前下車、無料バスの用意があるが、モーター・プールを持つ競輪場は全国でここだけである。(写真は花月園競輪場)

冠たる川崎競輪場
運営に市当局の労苦



昭和二十四年四月、全国にさきがけて開催した川崎市営『川崎競輪場』も発足当時は売上げが少なく、しかも第二回には決勝誤審問題を起して前途多難を思わせた。その後市当局の運営改善と努力により売上げも逐次上昇、その年の九月には一億を上回り、ようやく関係者は愁眉を開いた。しかし、その喜びもつかの間で二十五年の二月五日、有名な川崎競輪事件を惹起、全競輪の危機を招くような結果となり、当事者は苦悩のドン底に叩き落されたのであった。爾来営々として施設の改善につとめ、観客へのサービスに全力を傾けて来た結果、今日の隆盛をみたのである。川崎競輪場はあらゆる点ですでに日本一の定評を得ているが、その発展のかげに、育ての親田辺光次助役(前経済部長)をはじめ、現在運営に当る市当局者のなみなみならぬ労苦のあることを忘れてはならない(写真上川崎競輪場)